



# ぶどう特報 No.6



2021年6月17日  
JA 中野市営農センター  
JA 中野市ぶどう部会

4月中～下旬の低温で生育がやや停滞し、園地の条件により生育がバラついている状況です。

自身の園地を巡回し、展葉のステージや開花状況を園地ごとにしっかり確認して、適期の防除に努めましょう。

なお、連続した降雨が予想される場合は、定期防除を前倒しして実施しましょう。

2021年	発芽 (平年比・前年比)	開花 (平年比・前年比)	満開予想 (平年比・前年比)
巨峰 (長梢・自然系)	4/23 (-4・-7)	6/8 (+1・+3)	6/12 (+2・+3)
シャイン (短梢H型)	4/27 (-4・-6)	6/12 (+2・+3)	6/16 (+1・+3)

## 【第8回 定期散布】

散布時期	落花12日 (前回防除から10日後頃)	散布日	月	日
散布薬剤	水	100 L		
	フェニックスフロアブル	25 ml	(14日前・2回以内)	
	ゾーベックエニベル顆粒水和剤	133 g	(45日前・2回以内)	
	アドマイヤー顆粒水和剤 (劇)	10 g	(21日前・2回以内)	
散布量	400L / 10a			
対象病害虫	晩腐病、べと病、(黒とう病)、アザミウマ類、(チャキイアザミウマ)、フテンヒメコバエ、(クビアカシバ)、コカガラムシ類			
注意事項	<p><b>【農薬汚れ・ブルーム溶脱 対策】</b></p> <p>◇ ゾーベックエニベルに代えてホライズンドライフロアブル2,500倍(21日前、3回)を使用する。</p> <p>◇ 葉面散布剤はブルーム溶脱の恐れがあるため、袋をかけるまでは加用しない。</p> <p>※ジマンダイセン・ゾーベックエニベル・ペンコゼブ・リドミルなどのマンゼブ成分を含む農薬は、年間の使用回数が2回となっているため注意する。</p> <p>① 主幹害虫対策のため、主幹・主枝にもたっぷり散布する。</p> <p>② アザミウマ類対策のため、花穂(ぶどうの軸)にしっかりと薬液が達するようにしっかりと散布する。</p>			

## 【第9回 定期散布】

散布時期	落花17～20日 (前回防除から10日後頃)	散布日	月	日
散布薬剤	水	100 L		
	ザンプロDMフロアブル	50 ml	(30日前・2回以内)	
	アミスター10フロアブル	100 ml	(30日前・3回以内)	
	ディアナWDG	10 g	(前日・2回以内)	
散布量	400L / 10a			
対象病害虫	晩腐病、べと病、灰色カビ病、黒とう病、アザミウマ類、(チャキイアザミウマ)			
注意事項	<p><b>【農薬汚れ・ブルーム溶脱 対策】</b></p> <p>◇ ザンプロDMフロアブルに代えてエトフィンフロアブル1,000倍(7日前、4回)を使用する。</p> <p>◇ 葉面散布剤はブルーム溶脱の恐れがあるため、袋をかけるまでは加用しない。</p> <p>① アザミウマ類対策のため、花穂(ぶどうの軸)にしっかりと薬液が達するようにしっかりと散布する。</p>			

次回特報配布予定：7月2日(金)

裏面あり

# ～ 生育状況・管理について ～



## ◆ ぶどうの新梢管理について

### 強い副梢(太い・長い)を作らない / 房に養分を集中させる

#### 《満開～満開 30 日頃：ジベ処理時期・摘粒時期頃》

- ① 枝に無駄な養分がいかないように、副梢を適宜処理する。
- ② 黒とう病やべと病の果粒への感染を予防するためにも実施が推奨。
- ③ 若木や芽が飛んだ箇所は房に直射日光が当たらないよう副梢 1～2 枚を残す。(短梢)
- ④ 満開 30 日ごろ(水まわり期)に差し掛かる時期までにはある程度整理を実施する。
- ⑤ 黒系(巨峰・パールなど)は副梢から 2 番なりが発生してくるので早めに副梢ごと処理する。

#### 《満開 30 日頃～満開 40 日(水まわり期直前)：袋かけ時期頃》

- ① シャインマスカットでは縮果症の発生が心配されるため、極端な副梢整理は控える。
- ② 太い副梢を大量切除することのないよう、満開 30 日頃までにある程度の整理を実施する。

#### 《水まわり後(8月1日頃～)》

- ① 基葉の黄変(ムレッ葉)が発生しないように新梢基部の近辺の副梢を随時整理する。
- ② ムレッ葉で基葉が落葉した場合は副梢の葉 1～2 枚を残して代用してもよい。

#### 《収穫直前頃》

シャイン	収穫 1～2 週間前頃に房の上周辺の副梢を整理し房周辺の明るさを確保する。 気温が高い快晴の日が続くような場合は房上部の黄変や日焼けに注意。
黒系	生育時期同様、房の上周辺に副梢が発生次第、随時、副梢整理を実施する。 房周辺の明るさを保つ。
赤系	収穫 2 週間前頃に房の上周辺の基葉・副梢を欠き、房に直射日光が当たるようにする。

#### 《収穫期終盤～収穫終了後以降》

- ・ 枝の登熟を促進するため、新梢先端と副梢を切除する。
- ・ 切除後も副梢が発生してくる場合があるので、時間があれば、随時切除する。
- ・ 特にシャインマスカットは収穫終了後も旺盛に枝が伸長する傾向にあるので必ず実施する。  
(貯蔵養分ムダ使い防止・次年度の花穂の充実・次年度のぶどうの品質向上)